

「災害から命を守る為に」

高松市立国分寺中学校 2年 西坂 遙也 さん

今年も台風が季節がやってきました。既にいくつかの台風が日本列島に上陸し、全国各地に被害をもたらしています。

ごく最近の事です、僕はテレビのニュースをみていて衝撃を受けました。大雨によって被害が発生した市で、住民に避難を呼びかけていた市議会議員の方が土砂崩れに巻き込まれて亡くなったと言うニュースです。その方は、大雨が降る中、自宅近くの山あいの集落で、避難が出来ていない住民に声かけをしていたそうです。

僕がこのニュースを見た時に感じた事は、「この人は、最後の最後まで市民の為に行動したすばらしい人だ。」と言う事です。それと同時に、「どうして、この人が災害に巻き込まれないとだめだったのか。」という疑問です。この地域は、高齢の方が多かったのか…。ハザードマップはどのようになっていたのだろうか…。色々な事が気になりました。

僕の住む香川県は、災害がとても少ないです。実際、僕は生まれてからずっと香川県に住んでいますが、これまで大きな災害にあったこともないし見たこともありません。だからといって、本当に香川県は安全な所なのでしょうか。四国自体、海に囲まれた島国です。この先、僕達も何かの災害に巻き込まれる可能性があるという事を自覚しておく必要があると思うのです。ニュースなどで、各地で起こる災害を見たり聞いたりするだけなので、正直、僕にはまだ危機感がありません。このままではいけないと思いました。この作文を書くにあたり、僕の住む街の事、防災の事を深く考えようと思いました。自分の命、自分の大切な人達の命を守る為にどのような知識をつけ、どの行動するべきか調べました。

それには、まず第一に色々知る事が大切です。住んでいる場所が「災害危険箇所」であるかどうかを、ハザードマップで確認し、また、避難場所を知っておく事です。家の周りに危険な場所がないか、普段から注意をはらい危険な物があれば排除したり、補強したり対策を取る事も命を守る行動につながるのではないかと思います。

第二に、情報に敏感になる事。テレビなどで流れる「災害警戒情報」に注意する事です。情報が出たら、防災無線などに注意し、避難するタイミングを見極めることが大切です。

第三に、早めの避難を心がける事です。普段から家族で避難場所までの道のりを確認しておいたり、連絡先を決めておいたり、非常用持ち出し袋を準備して、避難訓練をしたりすることで、いざ災害にあった時の避難もスムーズにできるのではないかと思います。

災害から命を守る為に僕達にできること、それは、常日頃から災害に対する備えをきちんとしておく事です。まさか、自分が被害にあうわけがない、などと思わずに、一人一人が危機感を持って真剣に災害と向き合い、対策を心がけておくべきだと思いました。

第四には、地域との連携です。もし自分が避難することができたとしても、足の悪いお年寄りの方は、自分一人では避難ができないかもしれません。そうなるのを防ぐために、避難する際には、近所の人同士で声をかけ合う事が大切だと思います。お互いに助け合い支え合って、地域が一体となって避難をする事こそ、被害を最小限に抑えるポイントだと思います。

しかし、災害が起こった時だけ協力するという感じでは、実際、地域との連携はなかなか上手くいかないと僕は考えます。その為に大切な事は、普段から地域の方とのコミュニケーションをしっかりと取ったり、あいさつをし合って顔なじみになっている事だと思います。

そうする事で、災害が起こっても助けたり、助けられたりの関係が成り立つのだと僕は思います。

僕の住む街では、年に数回、地域の方と行っている「クリーン大作戦」というボランティア活動があります。僕は、人見知りという事もあり、そのような機会があり、話しかけられる事はあっても、自分から地域の方に話しかける事はありません。今後は、そのような行動に参加した時は、勇気を出して自分から地域の方に話しかけてみようと思います。

危険をかえりみず、大雨の中、地域の方に声をかけて回った市議会議員の方の行動は、僕の防災に対する意識を変えてくれました。

僕は、一生、この方の事を忘れる事は無いと思います。そして、この方のように思いやりと勇気を持った行動が取れる人になりたいなあと思いました。

これからも、ニュースや関連記事に目を留め、色々な機会に家族と話し合いをしていきたいです。そして、災害から命を守る為の備えや行動について、常に考えていくようにしようと思いました。